



当日は雨模様で、取り付けた雨避け用屋根がさっそくお披露目となりました！

大成区上浦町内会では、山車の基礎とも言える車輛部の老朽化が進み、このたび山車車輛取替、雨避け用屋根設置や、山車用提灯・長胴太鼓・子供用半纏などの整備に対して助成を受けました。町内会活動のひとつでもある祭典事業の際には、子供からお年寄りの3世代が参加・協力し山車・踊りの行列をつくり町内を練り歩きます。祭典前には踊りや太鼓の練習のほか山車清掃、行灯の作成修理等に追われますが、一致団結で当日まで乗り切ります。本年も7月9日、10日の2日間、上浦神社祭が開催され、子供・大人またお年寄りから職種も違う会員同士みんなが輪になり会話や踊りで祭典を楽しみました。今後も地域の結びつきを大切に、より一層コミュニティ活動が推進することを期待しています。

※「財団法人自治総合センター」では、全国宝くじの普及広報事業として、地域住民のコミュニティ活動を促進するため、その活動に必要な施設や設備の整備などに対し、助成しています。

編集後記

▼今回は、観光シーズンということで、「観光」を特集してみました。辞書によると「観光」とは、風光・風俗を見て歩くこと。改めて、「自分の住んでいるまちを、ゆつくり歩いたことがないな」と感じました。そこで町内各地に足を運んでみました。せたなの海岸には色んな岩がある、大成には動物の形をした岩がらつもあるんだなあ。太田山登ってみよう…途中でリタイアしましたが眺めが素晴らしい。辛い時、自分と向き合つ時、決まってく自分だけのお気に入りの場所など(皆さんもお気に入りの秘密の場所などあると思います)、考えるとききれいな景色がたくさんあるし、少し夏を感じる日差しやあだやかな風が気持ちいい。小さな感動の余韻に浸りながら、もっとよくみて感じて、住んでるまちを誇りたい。そんな思いが溢れました。多くの人に足をはこんでもらえる、大好きなもの、大切なものを守り続けることができるまちにしたい。大自然に囲まれて、大地のエネルギーを感じながら、心の中でつぶやきました「せたなって、いいなあ」。

(乾・藤谷・稲船)

